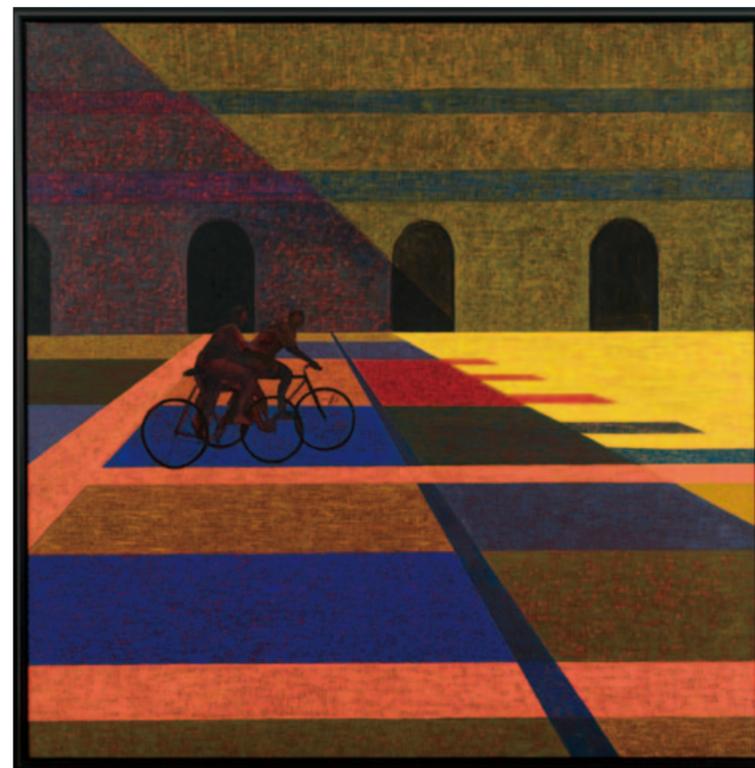




宮原麗子「メリダを歩く」2000年

# 宮原麗子・むつ美展

スペインの風・薫り



宮原むつ美「PLAZA」1997年

平成26年度 市立岡谷美術考古館収蔵作品展Ⅰ

宮原麗子・むつ美展 —スペインの風・薫り—

平成26年 5月15日(木)～8月25日(月) (会期中展示替えあり)

市立岡谷美術考古館

開館時間 || 午前10時～午後7時 休館日 || 毎週水曜日、祝日の翌日

入館料 || 高校生以上350円(250円) 小・中学生150円(100円) ( )内は10名以上の団体料金

※諏訪郡内在住・在学の小・中学生、岡谷市内在住・在学の高校生は無料です。



いきにあと、  
かえりにここ。

Okaya Art and Archaeological Museum

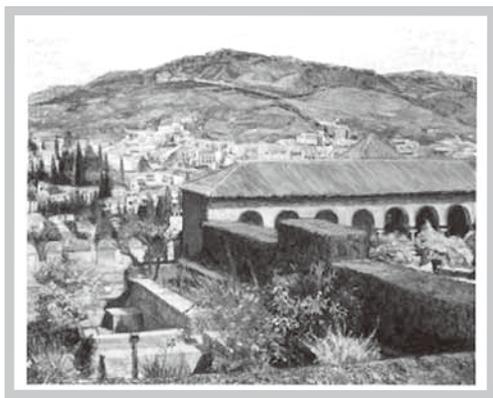
# 宮原麗子・むつ美展 — CÉFIROS DE ESPAÑA —

スペインの風・薫り

## 宮原麗子



1930年長野県岡谷市に生まれ。女子美術大学洋画科卒業。1948年長野県岡谷東高等学校在学中に長野県展(現・信州美術会)に初入選。1951年に一水会展初入選。以後、全国で展覧会、個展を開催。一水会委員(一水会:1936年に有島生馬、石井柏亭、木下孝則、木下義謙、小山敬三、裕伊之助、安井曾太郎、山下新太郎の8名によって創立された公募美術団体)・女流画家協会委員・信州美術会会員。



宮原麗子「宮殿(グラナダ)」2004年



宮原麗子「オリーブの丘」2007年

郷土出身の作家を紹介してきた市立岡谷美術考古館では、信州 岡谷市が生んだ洋画家・宮原麗子と次女むつ美の母娘二人展を開催します。

宮原麗子は、洋画家 高橋貞一郎の長女として生まれました。県立岡谷東高等学校在学中の1948年に長野県展(現・信州美術会)に初入選。一水会や女流画家協会などを中心に幅広く活躍している洋作家です。

麗子の次女、むつ美は、女子美術大学絵画科を卒業後、1994年から1年間、文化庁在外研修員としてスペイン・マドリード コンプリテンセ美術大学に学んだ後、現在もスペインに在住し、活躍を続けている作家です。

本展では、母娘ともに惹かれた、スペインの地を題材にした当館初公開の新収蔵作品を中心に展示を行います。母と娘が描く、ふたりのスペインは、それぞれが異なった光と影で描かれています。濃厚な色彩とふたりの熱い想いが降り注ぐ、スペインの風と薫りをどうぞご堪能下さい。



JR中央線岡谷駅下車 徒歩5分/長野自動車道、岡谷ICから車で10分  
※駐車可能台数が少ないため、近隣の市営駐車場をご利用ください。

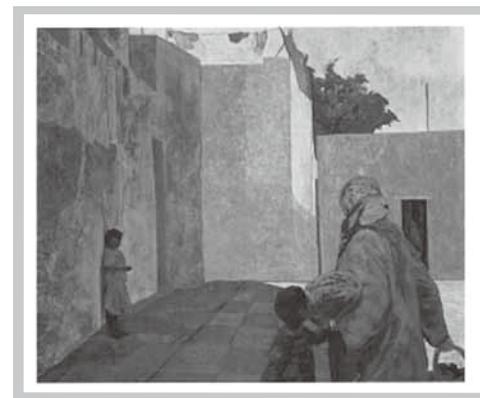


〒394-0027 長野県岡谷市中央町1-9-8 TEL/FAX 0266-22-5854  
http://www.okaya-museum.jp/ E-mail: art@city.okaya.lg.jp

## 宮原むつ美



1960年大阪府生まれ。女子美術大学絵画科洋画専攻卒業。1991年第45回女流画家協会展 奨励賞受賞。1994年から1年間文化庁在外研修員として、スペイン・マドリードコンプリテンセ美術大学に在籍。以後、スペイン・マドリード国立人類学博物館にてグループ展「スペインを描く」など主にスペインを拠点として活動を続ける。日本美術家連盟会員・女流画家協会会員・国画会会友。



宮原むつ美「MI ABUELA(私のおばあさん)」1991年



宮原むつ美「マジョール広場」2011年